

令和7年度 第12回

日南市教育委員会

会議録

令和8年2月19日（木） 午後3時から
日南市役所 本庁舎付属棟

1 会議の名称 令和7年度教育委員会 第12回会議（定例）

2 会議日時 令和8年2月19日（木）
午後3時から午後4時15分まで

3 出欠確認

（1）出席委員 都甲政文、別府信一、八木真紀子、谷口智子

（2）事務局 教育部長兼学校教育課長
学校教育課学校教育担当監
生涯学習課課長
学校教育課課長補佐兼管理係長
学校教育課管理係主任主事

欠席 佐藤泰信

4 場所 日南市役所 本庁舎付属棟

5 傍聴者 1名

6 開会

【都甲教育長】

「それでは、令和7年度第12回日南市教育委員会定例会を始めさせていただきます。」

7 出席者及び傍聴者確認

【都甲教育長】

「出席者の確認をいたします。今日は佐藤委員が欠席となります。事務局の出席者の確認をお願いします。」

【鬼東部長】

「事務局は、全員出席です。」

【都甲教育長】

「傍聴の方は1名です。よろしくをお願いします。」

8 活動報告

(1) 教育長活動報告

【都甲教育長】

・1月23日金曜日、教育研究所の授業ですね。油津小学校の四月一日先生、6年生の国語の授業でした。この前研究所の閉所式もあったんですけども、先ほど出た複線型の授業といますか、その子に合わせたような授業をちゃんとやってですね。非常に参観者も多かったですね。

・それから1月24日土曜日、これは建設業の方々が毎年キャンプの前に南郷スタジアムと天福球場を清掃してくださるものです。高い機械やトラックを使って木を切ったりとかですね。その挨拶に行かせていただきました。30人ぐらい来ていただいて、綺麗にさせていただきました。南郷スタジアムのネット裏の座席を丁寧に1個1個拭いていただいて、すごいなと思いました。

・1月24日25日、県の女子駅伝がありました。24日が開会式で、25日が本番でした。例えば優勝した小林とかは小林高校の全国大会に出た子たちとか、まさしく県内女子のトップランナーが集まる駅伝大会で、非常にこう見ていて、そば通ると早いですね。ひゅーって行っちゃうような感じで。天気も良くて、風がちょっと強かったんですけど、やっぱり出た選手たちが言うてくれるのが、日南の人たちが非常に暖かく迎えてくれて、沿道で歓声を送ってくれて、毎年楽しみだと。そういうふうに言うてくれているみたいです。また今後もこれを続けていければなと思います。

・それから同じ25日、オリーブフェスタ in 日南っていうのがありました。これも平和をテーマに催し物をされたんですけども、1つの特徴として、学校に声かけをして子どもたちがボランティアで運営を支えているんですね。小学生から高校生まで。そういう中で関わってる大人の方に聞くと、不登校の子がやっぱりこう参加とかして、一生懸命やってくれたりとかあるみたいで、子どもたちが自分たちでやる経験を積むっていうのでは、このオリーブフェスタっていうのは良いのかなっていうふうに感じました。子どもたちも生き生きとやっていました。

・26日は文化財防火デーでしたので、今年は小村の生家に行って消火訓練がありました。私と課長は観光客のふりをして逃げて、それがテレビに映ったんですけど、結局映像を見れませんでした。私が学校にいる時は訓練で笑うな、歯を見せるなと言っていたんですけど、そうならないかが心配でしたね。

・それから27日、見に来ていただきましたけども日南高校の未来戦略課の研究発表会。高校生の発表がありました。また後ほど皆さんの感想も聞かせてください。

・そして29日が人事異動の経過説明会。途中経過ですけれども、4月1日付けの人事異動についての説明を事務局が来て行いました。

・30日金曜日、教育研究所の研究授業をもう一本。これは中学校の理科で、田中先生という榎原中学校の先生でしたけれども、校長先生が言うてました、非常に地味な授業でって。岩石を見るような授業で、見ながら識別していくってやつね。理科でいえば、高校の

地学のような授業だったんですよ。久しぶりに見ましたね。

・それから2月1日、埼玉西武ライオンズの市民歓迎式に行きました。これは去年から帽子をもらえるということで、今年も1年生がいただきました。今年は飢肥小学校の2人が代表でもらってくれました。とても気に入っていたようでした。

・2月5日は校長会でした。新年度の人事について、校長先生方にしっかり考えてくださいという話をしました。校長先生たちは評価に関わってもらって、フィードバック、先生方に返すような作業をしてもらったんですけども、その時にただ校長先生がしゃべるだけじゃなくて、なかなか機会がないんですけど、先生たちからいろいろな話を聞くっていうのも大事じゃないかなと。校長先生の聞く力が試されるフィードバックなので、しっかり聞いてくださいっていう話をしました。

・2月6日、日南市読書感想文・感想画表彰式。33名を表彰したんですが、今年は読書感想文に27点、そして感想画に298点出してくれました。今の傾向ですかね、なかなか感想文が難しいのかなあって。先生方に言わせると、なかなかこの指導も難しくなっているということなので、そこも考えていく必要があるのかなと思いました。読書感想画については非常にたくさん激戦を勝ち抜いた作品を表彰させていただいて、谷口委員の娘さんも受賞をされていましたね。

・それから2月12日は初期研修。1年目の先生方の研修が最後だったということで、1年間で振り返りました。1年目は割と手取り足取りしてもらったんですけど、2年目はそれがなくなるんですよ。中にはそれで寂しさを覚える先生もいて、だから遠慮しなくていいから、2年目になっても困ったことがあったら相談とかしていく必要があるよという話を挨拶でさせてもらいました。というのも、会議の前に初任者がいる学校の校長先生全員にちょっと電話して聞いたんですよ。その中で1年目が終わることで不安を感じる先生もいるって聞いたものですから、そういう話をさせてもらいました。

・そして2月13日、県の教育委員会の新規事業の説明でした。いろいろ話がありましたが、一番としては学力向上とか、そういうものもあったんですけど、そういう県の方針がありながらも、日南市教育委員会の考えもうまくませ合わせながらやっていくということで考えたところでした。

・それから2月15日、日南市地域づくり大会。以前は公民館大会みたいな形だったんですけど、名前を変えて今に至ります。表彰とかの後、ラジオの坂井淳子さんが「地域を生き生きさせるには」ということでお話されたんですけども、元気な方でやっぱり面白かったですね。その後パネルディスカッションがあって、外浦の自治会長さん、それから県外から入ってきた方、あと高校生が2人、パネルに上がったんですけど、なかなか高校生が立派なことってですね。やっぱり地域のために頑張りたいんだけど、それを広げていくにはどうしたらいいですかとか。自分たちも参加したいんですけど、そういう情報はどうやってもらえばいいんですかとかですね。ああいうふうに聞くとなんか頼もしいなと思うし、その2人以外にも日南高校の子がやっぱり10数人来ていたようで、今後は楽しみだと思いました。

・続いて2月16日、育英会の理事会でした。令和8年度は16名ということになりました、いつもよりちょっと多いんですね。しっかり自分の学業のために使ってもらえればなと思ったところでした。

・それから17日の昼から、教育研究所の閉所式と研究論文の表彰式。これも後でまた感想をください。

・昨日18日は人事異動に係る2回目の説明会でした。

・それから同じ18日の午後ですけども、図書館協議会。読書推進計画の第3次なんですけど、それについてご意見をいただきました。この3次の計画を出すにあたって、未就学児それから4年生、中学生、高校生とアンケートをとってくれていたんですが、非常にその未就学児の親御さんからのアンケート回答率が良くてですね。回答を見ると非常に良いことが書いてあって、3歳までの絵本、ブックスタートのやつですね。司書さんに本を選んでいただけるという。これが今3歳までになっているんですが、これを5歳まで伸ばして欲しいとか、そういうふうに書いてました。

やっぱりどうしても歳が上がるにつれて、本や図書館から離れていくっていう傾向にあります。親御さんの考え方も同様に離れていっているんですね。だから昨日の話題はそこら辺をどうしていくかっていうことでした。図書館の機能もありながら、何かいろいろ呼び込むことは何かできないかとか、そういう話し合いをして、非常に良い意見をいただきました。

・今日19日の午前中は、社会教育委員の会がありましたので、挨拶をさせていただきました。今年1年間の生涯学習課のいろんな行事、取り組みについてご意見いただいたんですけども、冒頭で委員長さんが「社会教育委員としてどのように生涯学習課のやっていることに関わっていくのか。どういう機能を持って、この社会教育委員の会を今後やっていくのか」というような意見もいただきました。それを先ほど課長とも話したんですけども、やっぱり社会教育委員さんのそういう前向きな気持ちを尊重しながら、社会教育委員さんとして何かご意見をいただければなというふうに考えたところでした。

(2) 委員活動報告

【別府委員】

1月27日、日南高校で行われた未来戦略課の研究発表会に参加させていただきました。今回は5組の発表を聞かせていただきましたが、本当に素晴らしい発表で、とても参考になったところです。今回は選ばれた班だけで、本当は全部で20数班発表されたということだったので、またその発表も機会があれば聞きたいなというところで、また次回も可能であれば参加させていただければ嬉しいなと思いました。

2月17日、教育研究所閉所式及び教育研究論文表彰式に参加させていただきました。日高先生の挨拶にもあったんですけども、教育を取り巻く環境がやっぱり目まぐるしく変化しているということで、そんな中でも先生たちが実践を振り返って、また研究をま

とめ続けておられる姿に、本当に教育への真剣なお姿と熱意を強く感じました。本当に勉強になった時間ありがとうございました。

【谷口委員】

1月27日、日南高校の未来戦略課研究発表会に行ってきました。日南高校に行くのが初めてだったので、どんな感じなのかなと思っていたんですが、やっぱり綺麗な学校で、お花たちもちゃんと手入れされているなと思って見ていました。また発表会では、地域課題解決の研究を子どもたちの目線で行っていて、どうにか自分たちがしようっていう気持ちがすごく伝わってきました。私は中でもアンコンシャス・バイアスの話、無意識の偏見の話が印象的で、ちょうどこの研究発表会の前の時にその話を子どもたちとされていて、何それってなっていたところだったので、もうすごく分かりやすく説明してくれてよかったなと思いました。男だから女だからっていうのを子どもたちからなくするのは、すごく日南市も変わっていくんじゃないのかなと思ったところでした。あとは、女性が活躍するアンコンシャス・バイアスの話を女の子たちがすることで、女性が活躍する場が増えていくといいなと思ったところでした。

2月17日は日南市の教育研究所閉所式と日南市教育研究論文表彰式に行き参りました。親としてはやっぱり社会環境がずっと変わっていく中で、私たちが習った時の教育とは多分全然違うなと思っていて、授業はどんなふうに変っていくのかなっていうのが謎だったので、やっぱり教育も昔ながらでやっていくのではなく、先生方も一生懸命考えてくれるなっていうのが伝わって安心しました。

【八木委員】

私の方も1月27日、日南高校で行われた未来戦略課研究発表会に参加させていただきました。日南で育った子どもたちが地元の次の未来のために知恵を絞るということで10代の感性を聞いていて、本当に心が温かくなりました。その中でやっぱり考えたことがあの場で終わるのではなくて、市民の人まで届くようになって、そういう意味でストリートサッカーですかね。あれは結構メディアとかにも出たんですけど、主婦が子育てをしながらストレッチとか、ああいうものが何か。「日南市役所好きい〜部」とかあるじゃないですか。ああいうので取り上げてみんな見ると、すごいなんか愉快というか楽しい気持ちになるんじゃないかなと思うので、ぜひ広げて欲しいなっていうのが願いでした。

それから2月17日の教育研究所閉所式と日南市教育研究論文表彰式にも参加させていただきました。先生たちの学ぶ姿っていうのが子どもたちに伝わって、よりよい授業になっていくのかなというふうに感じました。

それと教育委員会ではないんですけども、学校図書館のフォーラムに参加してきました。県の行政の方とか、学校司書、それから読書ボランティアとか、そういう方が50名ぐらい集まっていました。法的なことをいえば、例えば国からの予算は大体、1.3校

に1人の図書司書配置という予算が組まれているけど、そこがなかなか難しいということで。例えば県内、宮崎市でしたら、全部の学校に図書司書がいて1日6時間50分で働くとか、そういった資料が全部出ています。日南市の場合は今24校のうち図書館職員数が4名ってことで、やっぱり少ないのかなって。やっぱり図書館に人がいないと活用できないっていうのがあると思います。その中で私の友人でもある西高校の図書室の人が発表してくれたんですけど、西高の取り組みとして1年間で1500冊もの蔵書を購入されるということで、びっくりしました。新聞も8社にとって、情報が入るようにして、それを全部切り抜いて生徒に示したりとか。雑誌だけでも30冊程度を毎月とっているという中で、ただそういう本を使っているんな情報を得たりとか、勉強するっていうこともなんですけど、社会と繋がるハブ的な取り組みっていうかな。そういうところまでしっかりされていて、ただ本を貸すというだけでなく、本当にいろんな機能が図書館にあるっていうような内容でした。西校で使われてるものを持ってきたので、もしよかったら見てください。やっぱり図書館には人が必要なので、日南でももうちょっといいのかなと思います。私が図書館ボランティアを子どもが小学生の時とかにしていたんですけど、その当時図書室にいと、先生たちが「今度宮沢賢治の授業をするから資料を集めてきて」って言ったら「わかりました」って言って。日南の図書館まで行って、資料を借りてきて授業をするんですけど、ただかち合うんですよね。みんな同じ授業を同じ時期にしているので。そこが問題だなと思いました。今はどうなのかなと。タブレットも入り、それから情報も拾える時代ですけど、やっぱり本の大切さとか。生徒のためにも必要なものなので、そこをどうにかってやっぱり学校図書室の先生たちは考えていらっしゃると思うんですよね。そういうところでもっと日南の学校図書館が良い場所になるように、生徒が勉強できるような、そういうシステムとかが必要なんじゃないかなと思うので。司書の先生たちの話も聞いてみたいなと思っております。

【都甲教育長】

4人だから、各学校に週1なんですよね。そういう計算で言ったらね。外注しているんです。包括ですね。

【八木委員】

昔は6人だったので、2人減ったんです。ほかの市町村は全部時給まで書いてあるんですけど、それがここ(学校図書館フォーラム資料)にも書いてあるんです。

【鬼東部長】

例えば、市役所の会計年度任用職員だったらどうしても3年間とか、そういう期限があります。けれど業務委託であればその会社の社員さんなので、雇用的には安定的な雇用をできるっていうメリットがあるんですけど。

【八木委員】

専門の図書司書がいるのが木城町と高鍋町と川南町だけ。この3つの自治体はちゃんとしたお給料を貰ってっていうことらしいんですけど、また市町村によって、特に小さいところは少なかったですね。いろいろ工夫はされてるんですけど、図書司書っていうと食べていけないですよ。それがあるので、正規になかなかないという、そこがまず。皆さん頑張っていらっしゃるんですけどね。

【都甲教育長】

本当に図書室に誰かいてくれると、やっぱり図書館が生きるんですよ。誰もいないからうまく活用できない。おっしゃったように本を読むだけじゃなくて、いろんな機能があるから、そのためにも大事なんですけどね。

9 前回の議事録承認

第10回の議事録について了承

10 議事について

議事1 本年度の活動実績の振り返りと次年度の研修計画(案)について

(武田主任主事)	本年度の活動実績の振り返りについて説明。
(都甲教育長)	どうですか、もう1年。早かったですね。何か思い出に残っているとか、心に残っていることは何かありましたか。
(別府委員)	私はICTの県外先進地視察が特に心に残っています。ICTの中身とか、先生たちがどういう使い方をしてるのかっていうのがすごく勉強になりました。
(都甲教育長)	去年から行っている他課との意見交換会は、未来創生課と行いました。やっぱり今一番に考えているのは人口減少についてでしたね。ああいうものを聞くとなかなかんだなあって思います。もちろん学校にも影響するんですけど、やっぱり市を賄って形作っていくことが、この人口減少によって厳しくなっていくわけなので、難しいんだろうなと。
(別府委員)	あの意見交換会がきっかけで日南高校が未来戦略課という取り組みをしていることを知れて、研究発表会に行くことができましたし、ありがたかったですね。
(八木委員)	72年に1万9千人でしたかね。それをいろいろ対策すると2万3千人。それでも少ないですもんね。
(都甲教育長)	結局人口減少は止められないから、もう何とかそれを高いレベル

でってということですよ。令和8年度の予算も先ほど市長が記者会見したんですけど、やっぱり大分子育て世帯に手厚い予算を組んでいますね。子どもを安心して産んで育てられる環境を作っていくってことで。

(別府委員)

その成果が出ているんでしょうね。移住者の割合的に子育て世代の移住者が増えているとのことだったので、やっぱり育てやすい環境にだんだん近づいてるのかなと期待しています。

(都甲教育長)

日南は気候なんかもすごく良いですからね。

(別府委員)

学校の先生も日南市の希望者が結構多いって話を聞くんですけど、やっぱりそういったところもあるんでしょうね。

(都甲教育長)

これからまた8年度の計画を出しますけれども、例えばふれあいコミュニケーションを今度はどういう人たちと話をしようとか、他課との意見交換会もまた楽しみにですね。

それでは続いて8年度予定の説明をお願いします。

(武田主任主事)

次年度の胃研修計画(案)について説明。

(都甲教育長)

以上が新しい取り組みを含めた大体の計画となります。また5月見ていただくと「児童生徒数・いじめ不登校件数について」という項目があるかと思います。この報告をこれから毎年5月に入れていきたいと思っています。これまでは皆さんからの求めがあれば出していましたけれども、やっぱりちゃんと年度当初に前の年の数字をお知らせしていこうかなと思って入れました。

そして「今後の学校のあり方」ですね。結局子どもの数が毎年減っていくので、その学校の中学校区が今どれぐらいだとか、そういったことを毎年校長には知らせるような形を今後取りたいと思っていますので、あわせて皆さんにお知らせするという事です。

そして先ほど説明がありました「Night教育委員会」。これを8月ぐらいに夜、皆さんが良ければやれないかなあと。少し時間を変えて、来てもらえるような時間に1回やってみるってことで。ちょうど夏休み中にいろんな市の取り組みをやっていきますので、その報告も兼ねて聞いてもらうといいのかなと、ぜひそういうことができればなと思っています。

それから先ほどあった九州地区の教育委員の集まり。今年玖珠町に行きましたよね。ああいうところに行っているいろいろな意見交換するとやっぱり良いじゃないですか。皆さんリモートではやっていらっやいますよね。あれを今度は九州地区の研修に行き行って集まって、

対面でやっぱりいろいろするのもいいのかなと思って。隔年に多分なると思うんですけど。予算が伴うものなので、なんかそういうのもできればなというふうに話してるところでした。

どうですか。皆さんから1年を通して、こういうこともってというのがもしあれば。

(八木委員)

他の市町村の話を知るとすごく勉強になるので、今後も続けていただければと思います。同じ機器の話を知れるのもすごく良いなと思いますし。

(別府委員)

ちなみに、毎年やっているオンラインのやつは、それはそれでまたあるんですね。

(武田主任主事)

あります。

(別府委員)

また、先ほどの教育委員会を夜にするかもというのは、1回だけでしょうか。

(都甲教育長)

そうですね。試しにということで、様子を見て。

(八木委員)

「今後の学校のあり方の検討に関する周知」というのが計画にあるんですけど、私は時々宮崎市のものも見るんですけど、もう本当に5年前からここに行くための計画みたいのが結構出てるんですね。だからそういうふうに、これも出るんでしょうか。

(都甲教育長)

いや、これはもう人数を示すだけです。正直に言って、うちはまだそこまでいってないですよ。地域によって違うので。だから何年経っても学校が残る地区地域もあると思うし、大まかな方針はもちろん今後考えていかなきゃいけないんですけど、この前の議会でそういう話を聞かれて部長が答えてくれたんですが、やっぱり総合的にいろいろ見ながら考えていくということで。

大窪もいよいよ明後日に閉校式ですけど、やっぱりかなりの時間をかけて行ったり来たりしながら明後日に至るんですね。だから簡単なもんじゃなくて、学校がなくなってしまうわけなので。そこら辺は正直人数だけじゃ済まされないですよ。

(八木委員)

継続して欲しいですけどね。

(都甲教育長)

そうそう、それが一番なんですけどね。そういうのでまず示していただいて、学校の中で話題にして欲しいんですよ。この前市Pのところへうちのメンバーに行ってもらって、いろいろ話をしてもらったことがありますが、それは市Pの方から要望があって、そういう現状を教えて欲しいということだったので、行ってもらいました。保護者の方が、自分の子どもたちが通ってる学校が今こういう状況で、何年後にはって思うだけでもまた違いますから。それも分

かってもらうために、年の初めについてことです。

あと単独訪問。来年度は開始時期が早いですね。大きいお仕事ではありますが、よろしくをお願いします。6月からということで、昨年行っていない学校に行くのが基本なんです、去年から分かっていて校長先生のところから行く予定です。やっぱり初めて来た先生なんかはまだ6月はね、走り出したばかりなので、本音としてはそんなに早く来るなよってなるでしょうから。

よろしいでしょうか。計画についても、これで行くということで、よろしくをお願いします。

議事2 3月議会上程議案等 (令和7年度当初予算)について

(鬼東部長)	3月議会上程議案等(令和7年度当初予算)について説明 (※学校教育課分)
(別府委員)	タブレットのAIドリルとロイロノート、これは毎年この金額が更新でかかる感じなんですか。
(鬼東部長)	ロイロノートに関しては、来年度の更新となり、また毎年毎年の更新になります。来年度以降につきましてはそのものを使うかどうかも含めて検討中となります。AIドリルにつきましては、令和6年度にプロポーザルを行いまして、それで契約をしておりますので、毎年この金額でいくことになると思います。
(別府委員)	このAIドリルについて、現場の先生の使用頻度、どれぐらい使ってるのかといったことは把握できるんでしょうか。せっかく入れたけど現場の先生はあんまり使ってないんだ、みたいなのもったいないので、何かちゃんと使ってるかどうかというフィードバックみたいなのは取られていないのかなと思いました。
(赤池担当監)	取っております。毎月業者の方から経過報告、学校の利用状況等の資料が全部送られてきますので、そういったのも含めて、利用頻度が少ない学校については、校長会の中で校長先生方に指導をするというような形で、計画的に利用するような形でお願いをしている状況にあります。
(別府委員)	現在のところ何%ぐらい使用しているのでしょうか。半分以上が使っているとか。
(赤池担当監)	使っているか使っていないかで言うと、ほぼすべての学校が使っ

ております。ただ使う頻度が学校によってバラバラで、9割ぐらい使ってる学校もあれば、2割ぐらいのところもあったり、学年によって差があったりというようなこともあるので。

(都甲教育長)

使ってみると良かったという評判なんですけど、なかなか持ち帰りが進んでいない状況でして。我々としては、持ち帰っても良いように、Wi-Fi 関係なく使える、そういうアプリを一生懸命探していたんですけどね。あれを本当に頻繁に持って帰ったら AI ドリルをもっと使う場があると思うんですけどね。

(谷口委員)

私のところでは結構持って帰ってきてるかもしれないです。何してるのって聞いたら宿題みたいな感じで返事が返ってきます。そして使う時には壊さないためのお約束みたいなのがあって、子どもたちは自分で署名をするんですよ。踏んだり蹴ったりとかしない、みたいな。そうやってすごく大事にしているから、何をやっているのかわからないけど、何か勉強なんだろうなって見えています。これは貸してもらっているもので、自分のものではありませんってちゃんと書いてあって、忘れたら取りに戻ってくるぐらいだから、結構うちの学校は使っているかと思います。

(別府委員)

最後に1つ、この8月にタブレットからノートパソコンへの入れ替えをするということで、夏休みが明けたらかなり環境が変わっていると思います。この移行はスムーズにいきそうな感じなんでしょうか。

(鬼東部長)

一応その移行期間としては夏休み期間を考えていますので、スムーズにいけるようにスケジュールは組んでおります。先生たちには夏休み期間に勉強してもらう予定です。

(八木委員)

タブレットからノートパソコンへ移行することについては、先生たちにはすでに周知しているのでしょうか。

(赤池担当監)

はい、校長会で周知しています。

(都甲教育長)

先生たちは結構 Google は使っているんですね。

(赤池担当監)

はい、使っていると思います。今は iPad でロイロノートが使いやすいということで使用しているのですが、これが Google の方になってしまうと、別にロイロノートを使わなくてもよくなります。ただ、今までずっとロイロノートを使っていて、いろいろ残っているものがあるので、できれば継続して使わせて欲しいということ言われているというような状況です。ロイロノートを使い続けるには年間これだけの金額が必要になって、ただロイロノートがなくてもそれと同じ機能は十分備えているので、そこを

(都甲教育長)

カットするかどうかについてはまた今後検討になるのかなと。

だから8年度はちょっとそういうところで骨が折れるかもしれないけれど、それ以降はもうそれでいくわけなので。県が出している先生たち一人一人のアカウントっていうのは。

(赤池担当監)

これは無償で使えるようになっていて、ただ利用の制限が1ギガまでしか保存ができないことになっております。しかしすべての教職員に付与されておりますので、それを使えばグーグルのアカウントも使えるようになっております。そういった形でクラウドに残しておけば簡単に移行もできるので、慣れてる人にとっては使いやすいのかなという感じはします。

(別府委員)

いろいろな発表の中でも、グーグルのスプレッドシートの話が出ていたので、若い先生たちは意外と進んで送信・移行できるんじゃないかと。

(都甲教育長)

だから最初にタブレットが入った時に比べたら、8月の研修をちゃんとやれば、2学期も先生たちはスムーズにいけるのかなって感じなんですね。4月にポンとするより、8月がベストかもしれません。

(赤池担当監)

ただ懸念しているのは、Chromebookに移行する一方で、校務用PCはWindowsなので、結局作ったものを持ってきた時に、あんまりそれができる方はいないと思うんですけど、マクロを組んでたら、エクセルのマクロがスプレッドシートになると崩れるとか。そのあたりを懸念されてる方はいらっしゃいますけど、ごく少数ではあります。

(都甲教育長)

詳しい人ほど心配している感じですね。ちなみに今使ってるタブレットは全部回収で、ちゃんと後の処理をしなければいけない、買い取りですね。改めて見るとやっぱりお金がかかるんですが、令和8年度はこのような形でやっていきます。

続いて生涯学習課、お願いします。

(重永課長)

3月議会上程議案等（令和7年度当初予算）について説明
（※生涯学習課分）

(別府委員)

スコアボードは修理ではなくて取り替えなんですね。

(重永課長)

天福球場は今、手で点数板を入れ替えるような形になっております。非常に年代物となっております、そのスコアボードの横といいますか、バックスクリーンの横に新たに設置をする予定です。また今あるものは撤去いたします。

南郷スタジアムにつきましては、今ある躯体を使い中身をくり抜いて、また新しい電光掲示板を作っていくというような予定になっております。

よく沖縄の少年野球等の交流大会とかをするんですけども、ビジョンに「ようこそ日南市へ！〇〇野球チーム歓迎！」みたいな感じで、そのデータ文字も作れますし、プロ野球からの要望もやっぱり大きかったですよね。今は「SB0」となっている表示を「BS0」に変更するとか、プロ野球が使用される場合はちゃんとスピードが表示も出る予定になっております。

(都甲教育長)

このように教育委員会では、令和8年度やっていきます。

1 1 その他

(1) 3月行事予定について

(2) 教育委員会会議（臨時）

- ① 日時 令和8年3月2週目のいずれか
- ② 場所 教育委員会応接室（ふれあい健やかセンター3階）

(3) 第14回 教育委員会会議（定例）

- ① 日時 令和8年3月23日（月） 午後3時から
- ② 場所 市役所別館2階会議室（会議室5）

(4) その他

【重永課長】

「昨日、図書館協議会を開きまして、第三次子ども読書推進計画の素案を固めて参りました。パブリックコメントを明日から市のホームページ等で上げたいと思いますので、またご興味があれば見ていただけると思っております。昨日の協議会でも前向きな意見が多く、大変貴重なご意見いただいて、今後の図書館行政のヒントになるものもあったのかなと思っております。4月1日改定のもののをの予定になっております。」

【都甲教育長】

「ぜひ見ていただいてパブリックコメントを寄せていただけると。感想をお願いします。」

1 2 閉会